

安全上の注意

● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けを行ってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いを正しく生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別してあります。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
絵表示の例
● 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解・修理・改造禁止）が描かれています。
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告

● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
● アースを確実に取り付けること
● レンジフードファンの壁への埋め込みはしないこと
● レンジフードファンの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラッパ網など）と接触しないようにすること
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
● 周囲温度が 40℃ 以上になる所には取り付けないこと

注意

● 取り付けの際は必ず厚手の手袋をすること
● ファンや部品の取り付けは確実にすること
● 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
● 浴室など湿気の高い場所では絶対に使わないこと
● 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと

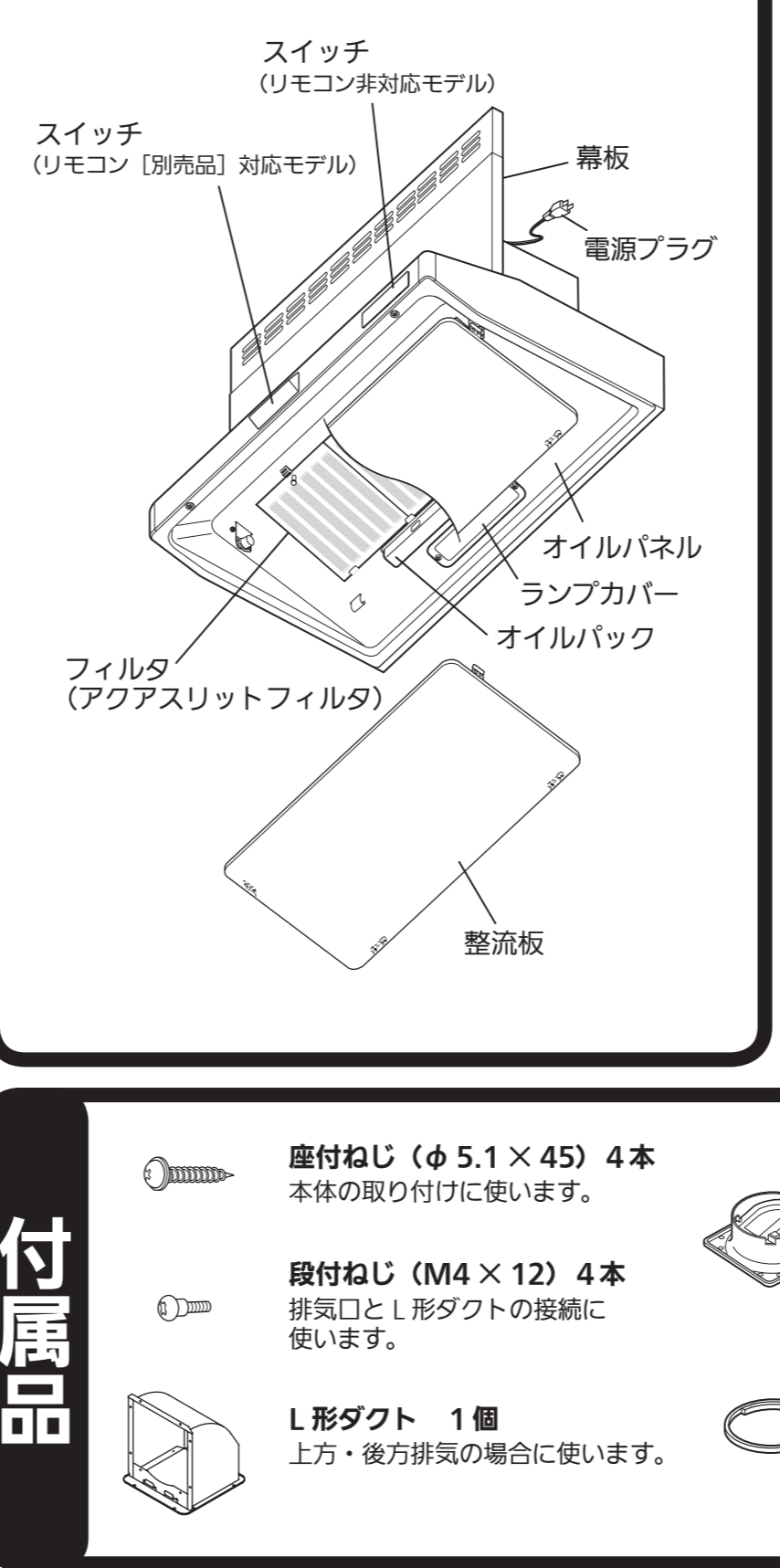
取り付け上のお願

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。
● タクトの不燃処理について
● 調理器具の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいじり下低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
● 製品は調理器具の真上に取り付けください。
● レンジフードファン下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。
● 電源は専用のコンセントおよびブレーカを設けてください。

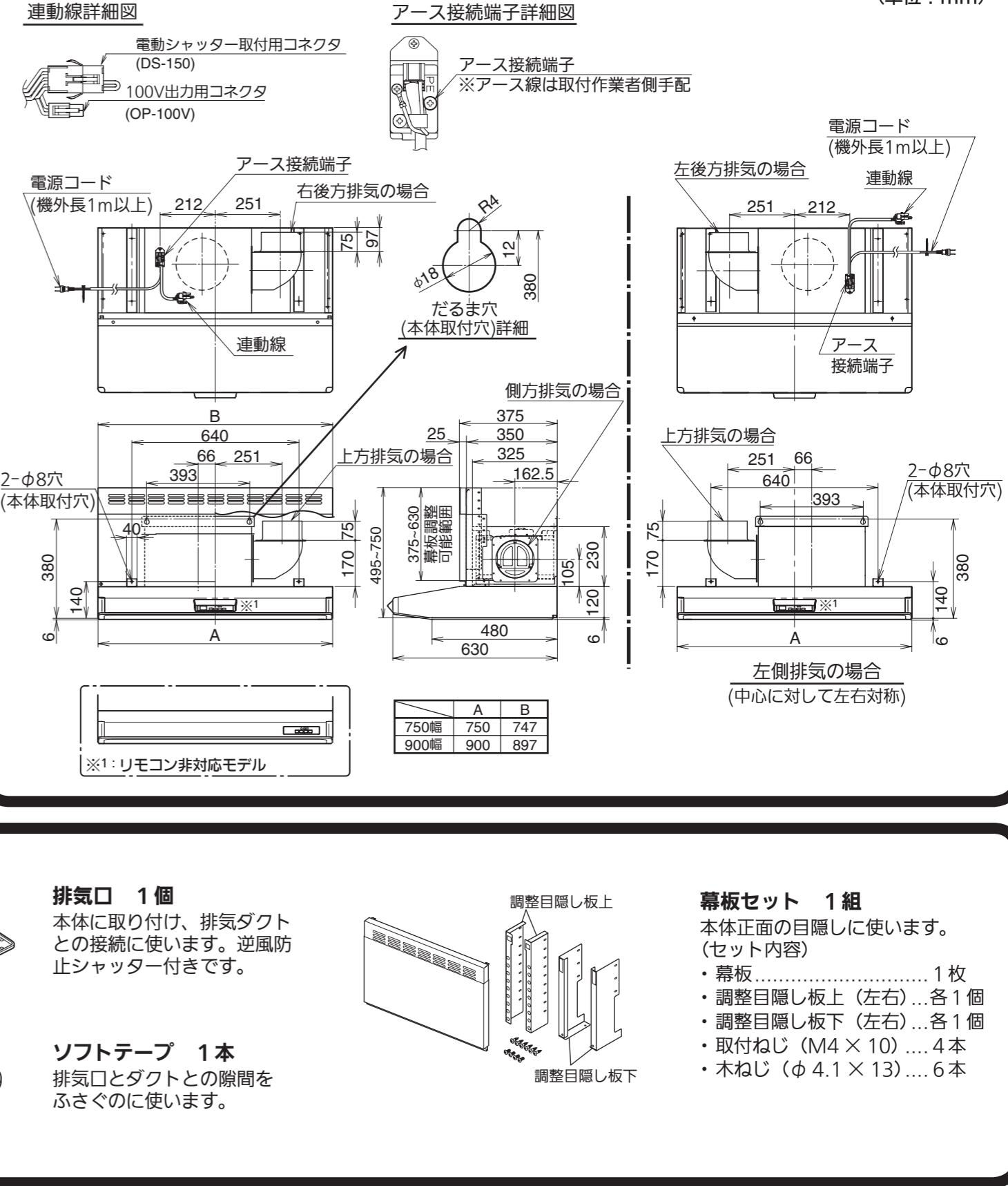
取り付け前の調査と準備

● レンジフードファン本体の取り付けは、十分強度のある取付面または補強等に確実にすること
● 取付面の強度確認
● 板張りの場合
● コンクリート、タイル壁の場合
● 土壁の場合
● 別売部品の準備
● 標準取付寸法
● 電源コンセント・ブレーカ

各部の名称



製品寸法図



1. 付属品の確認

● 製品取り出しの際は、必ず厚手の手袋をすること
● 梱包箱から排気口、ねじ等の付属品を取り出し、付属品一覧により不足がないか確認してください。
● 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
● 保護用のクッション材と固定テープは取付作業が完了するまでキズ・破損防止のため、はずさないでください。

2. 排気方向の決定

● 浴室など湿気の高い場所では絶対に使わないこと
● 納入時は右側排気仕様になっています。左側排気の場合は裏面下部の「左側排気の場合」を参照して、ファンユニットの取付変更を行ってください。
● φ150 のステンレスダクト、またはスチールダクトをレンジフードファンの上部に突き出すようにセットして周囲を仕上げてください。

3. 排気用部品の準備

排気口とL形ダクトの接続
● 上方排気・後方排気の場合
● 側方排気の場合
● 後方排気の場合
● 側方排気の場合
● 別売の中間ダクトを使用する場合

4. 本体の取り付け

● 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
● 部品の取り付けは確実にすること

5. ダクトと排気用部品の接続

● 送風機ユニット部のだるま穴に座付ねじ2本をねじ込みます。
● 本体を引っ掛け固定します。
● 排気口をダクトに接続します。
● 風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）を行ってください。

6. 電気配線

● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● 電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
● アースを確実に取り付けること

7. 幕板の取り付け

● 取り付け前の寸法確認
● 幕板取付高さ範囲
● 幕板取付高さ範囲

こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けを行ってください。
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

取り付けかた

1 保護シートを剥がします。

- (図7-3)
- 1) 幕板裏面左右にある取付ねじ2本をはずして幕板を分離します。
 - 2) 幕板および調整目隠し板上・下に貼ってある保護シートを剥がします。

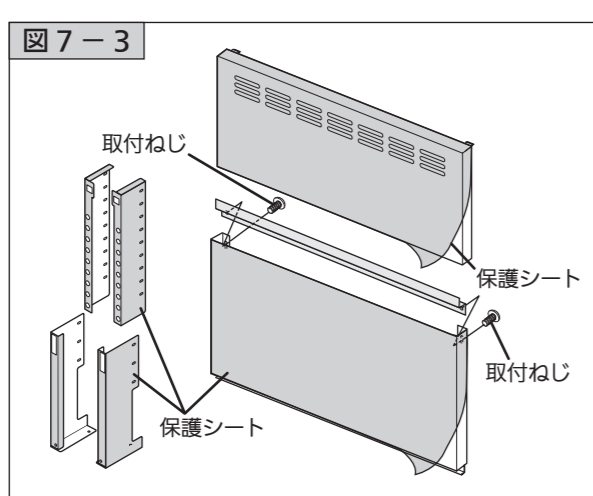


図7-3

2 スライド部を固定します。

- (図7-4)
- ※ あらかじめ本書表面「幕板取付高さ範囲」(図7-2)を参照して幕板の高さ調整を行ってください(幕板をキズつけないよう十分ご注意ください)。

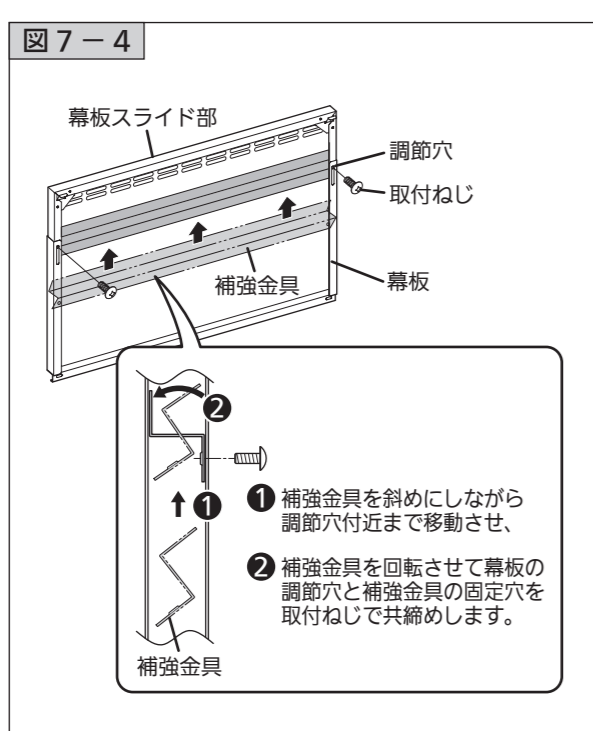


図7-4

- 1) 補強金具を幕板裏面に差し入れ、幕板の高さ調整穴付近まで移動させます。
- 2) 補強金具を回転させ、補強金具の穴位置を合わせ、手順1-1)ではずした取付ねじ2本で固定します。

3 調整目隠し板下(左右)を取り付けます。

- (図7-5)
- お願い**
調整目隠し板下を取り付ける際は左右を間違えないようご注意ください。

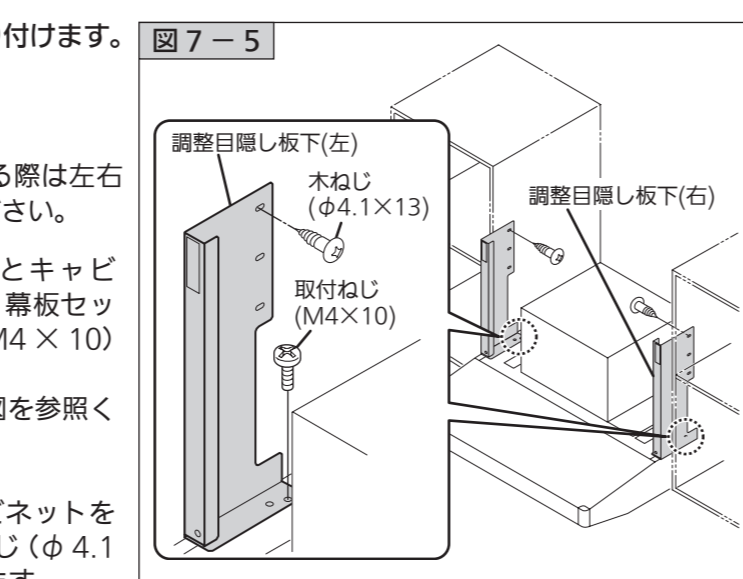


図7-5

- 1) 調整目隠し板下を本体とキャビネットの間に挟み込み、幕板セットに付属の取付ねじ(M4×10)各1本で固定します。
※ 取り付け穴は右拡大図を参照ください。
- 2) 調整目隠し板下とキャビネットを幕板セットに付属の木ねじ(φ4.1×13)各1本で固定します。

4 調整目隠し板上(左右)を取り付けます。

- (図7-6)
- 調整目隠し板上を調整目隠し板下に差し込み、天井に合うよう位置を調整して幕板セットに付属の木ねじ(φ4.1×13)各2本で固定します。

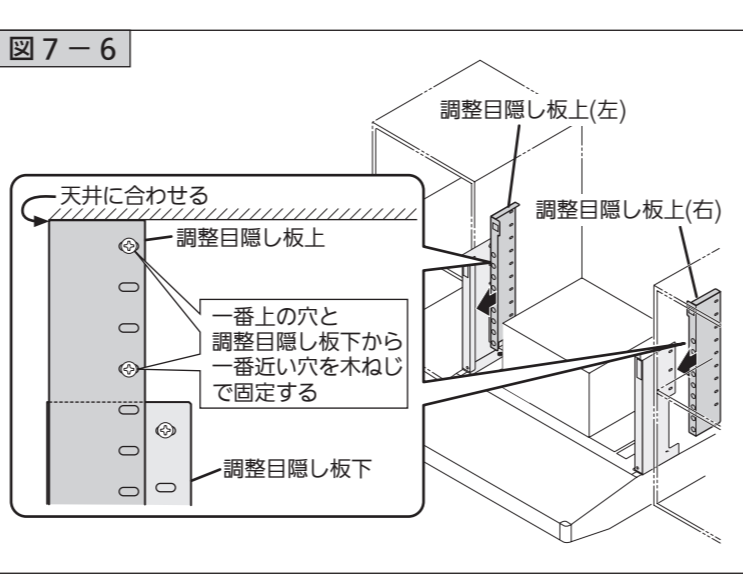


図7-6

- ※ 木ねじ2本は、うち1本を調整目隠し板上にある一番上の穴、もう1本を調整目隠し板下に最も近い穴に取り付けてください。

5 幕板を取り付けます。

- (図7-7)
- 1) 幕板裏面上部にある左右のツメを調整目隠し板上の穴に引っ掛けます。
 - 2) 幕板と調整目隠し板下のねじ穴を合わせ、幕板セットに付属の取付ねじ(M4×10)2本で固定します。

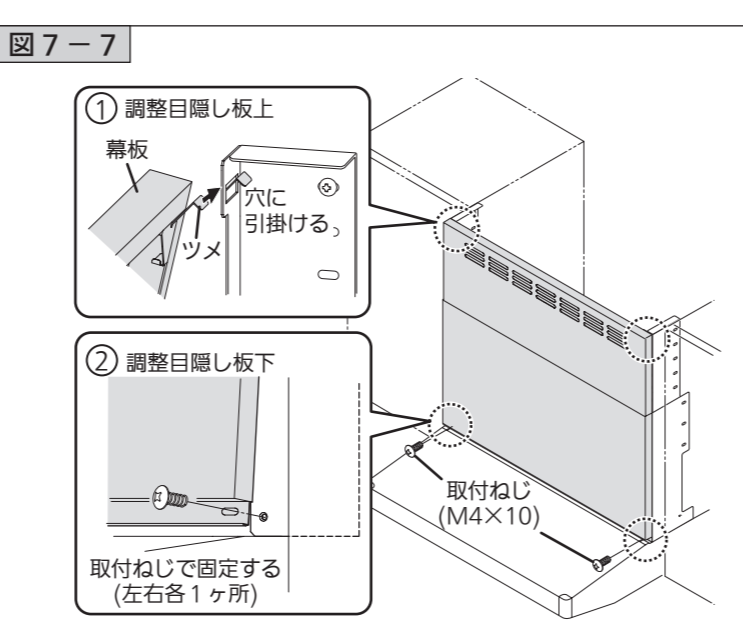


図7-7

8. 試運転の準備

1 整流板を開きます。(図8-1)

- 1) 整流板を両手で支え、少し押し上げるようにして整流板の両端にあるストッパーを押し上げます。

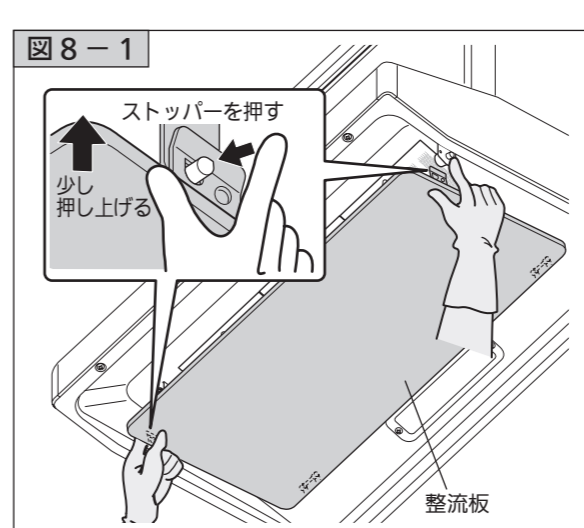


図8-1

- お願い**
整流板を落とさないよう必ず両手でしっかりと支えてください。

2 整流板を両手で支えながら、手前側を下へゆくりと下ろします。(図8-2)

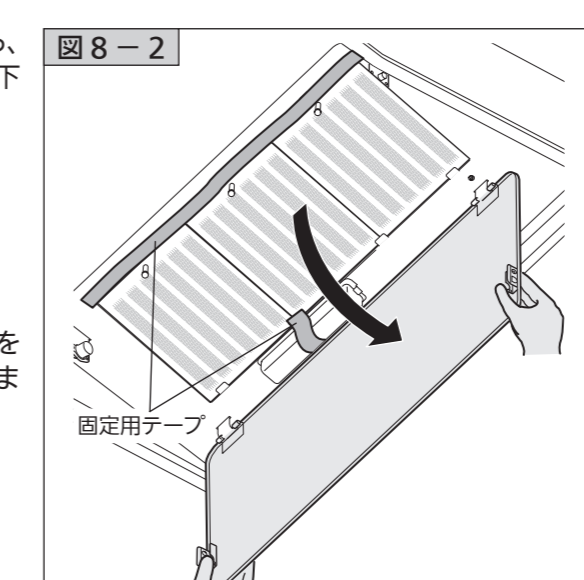


図8-2

2 固定用テープをはがします。(図8-2)

- 1) フィルタおよびオイルバックを固定しているテープをはがします。

3 整流板を閉じます。(図8-3)

- 1) 整流板を両手で支えながら手前側を押し上げ、両端のストッパーによりロックされるまで押し込みます。

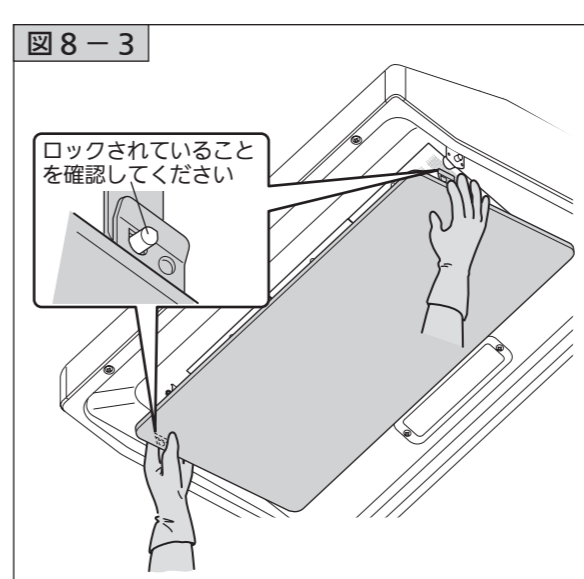


図8-3

- ※ 整流板を軽く上下に動かして、確実に取り付けられたことを確認してください。
- お願い**
整流板の固定は確実に行ってください。ロックが不十分ですと整流板の落下の原因となりますので、取り付け後再確認してください。

9. 試運転

注意

- 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
けがのおそれがあります。
- 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各連動の排気が正しく行われていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは施工に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

10. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

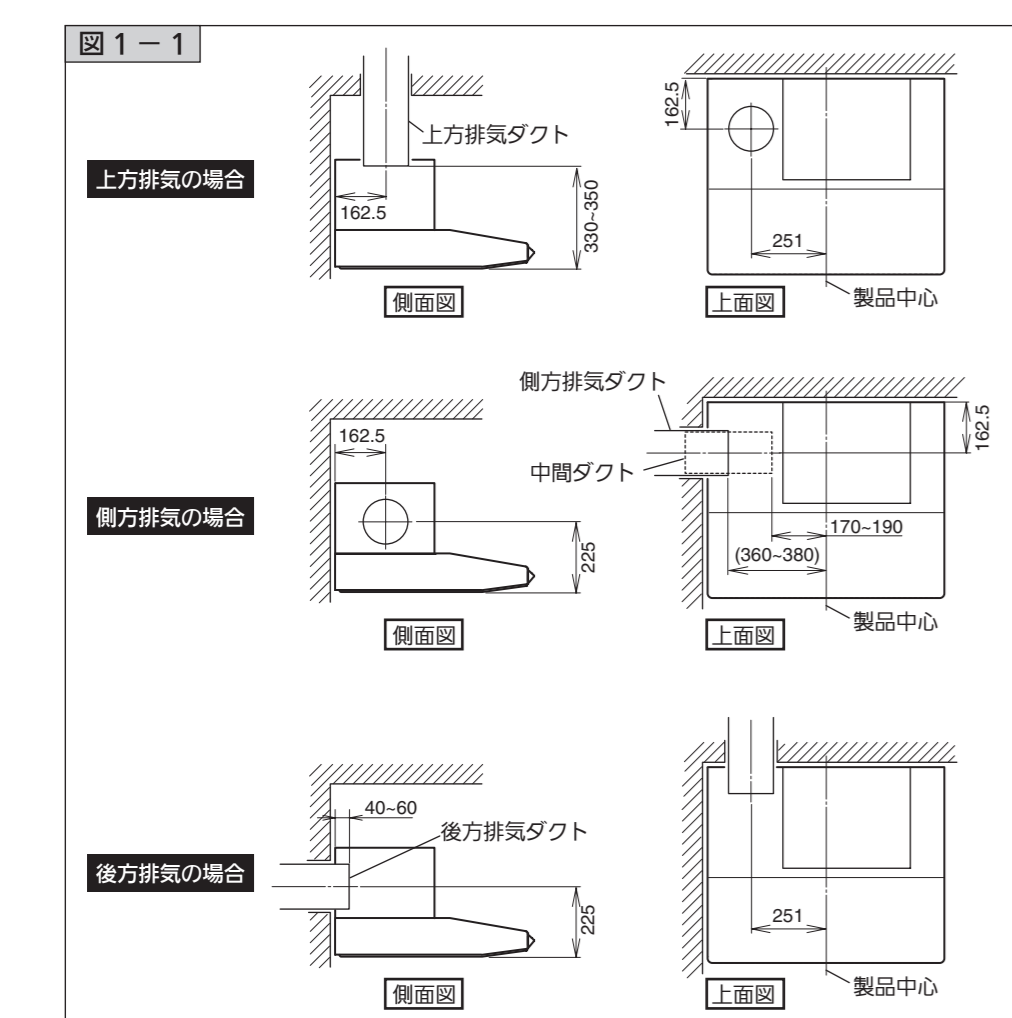
【製造元】 富士工業株式会社
 本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1-9
 TEL 042(768)3754 (営業部)

左側排気の場合

1. 排気方向の決定

- 1) 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者(法的有資格者)へ壁穴の開口を依頼してください。

- また、コンセントの位置を確認してください。(「6. 電気配線」図6-1参照)
- 2) φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトをレンジフードファンの上部に突き出すようにセットして周囲を仕上げてください。(コンクリート、タイル、土壁の場合)(図1-1)



2. 左側排気への準備

- ※ この説明は左側方(上方・後方)の排気用です。本体右側からの排気の場合は必要ありません。
- お願い**
・取付作業の際はキズ・破損のないよう十分ご注意ください。
・床で作業する場合、本体及び床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業を行ってください。

1 オイルパネルをはずします。(図2-1)

- オイルパネルを固定している取付ねじ2本をゆるめ、オイルパネルを矢印の方向に開いてはずします。

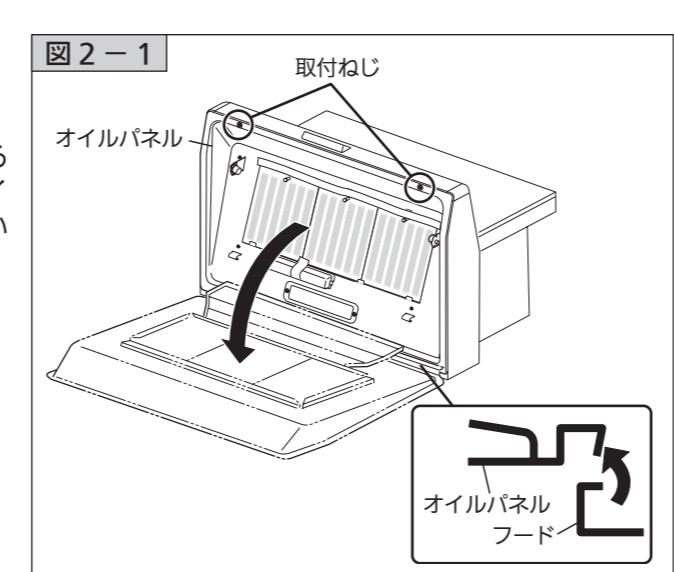


図2-1

2 コネクタ(2P・12P)をはずします。

- 1) 右図の位置のコネクタ(2P・12P)をはずします。(図2-2)
- ※ 2Pコネクタは配線ボックス側のみはずします。

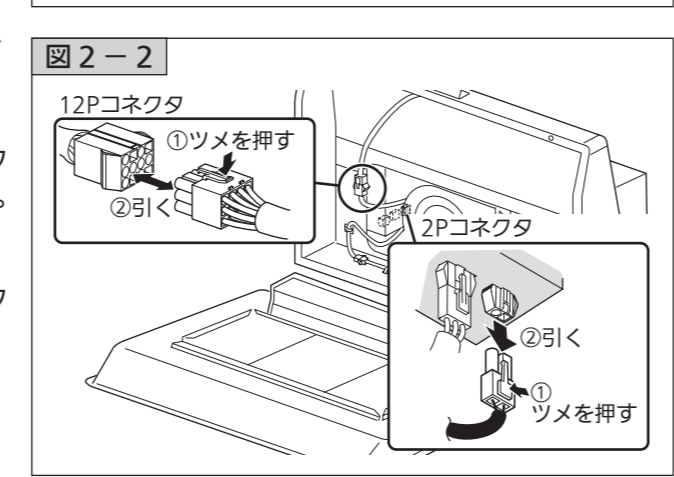


図2-2

お願い

- コネクタのはずしかたについて
コネクタをはずす際は、ツメの部分を押しながら、まっすぐ引き抜いてください。無理にひっぱると断線するおそれがあります。



図2-3

3 吊り金具(送風機ユニット側)と送風機ユニットをはずします。(図2-4)

- 1) 吊り金具固定ねじ3本をはずします。
- 2) 送風機ユニット部固定ねじ8本をはずします。
- 3) 取付金具固定ねじ2本をはずします。
- 4) 段付ねじ2本をはずします。

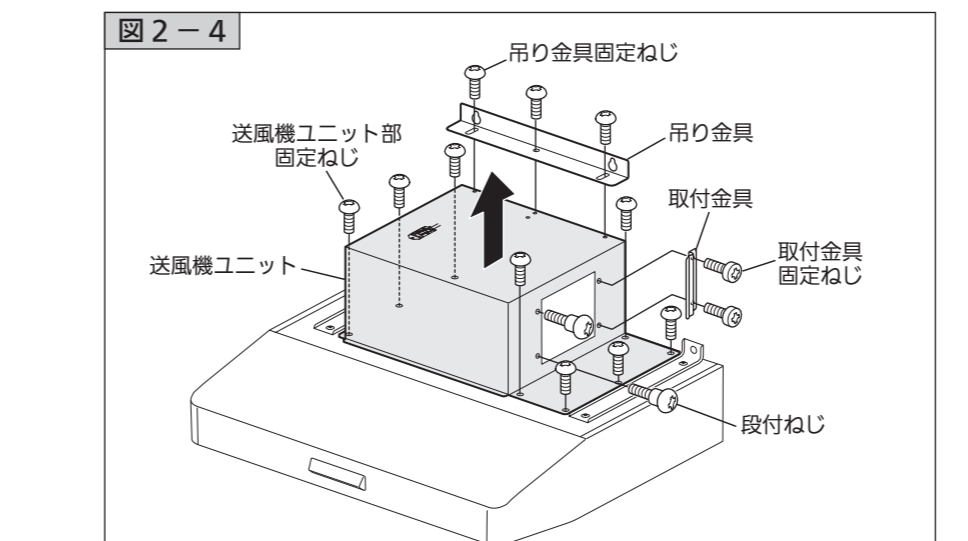


図2-4

- お願い**
はずした金具とねじはすべて後で使用しますので、なくさないようご注意ください。

4 吊り金具(送風機ユニット側)と送風機ユニットを付け替えます。(図2-5)

- 1) 送風機ユニットが手順3と反対の向き(排気口用穴が左に見える位置)であることを確認し、送風機ユニット部固定ねじ8本で止めます。
- 2) 吊り金具(送風機側)を固定用ねじ3本で止めます。
- 3) 取付金具を右図の向きにねじ2本で後方の穴に止めます。
- 4) 最後に段付ねじ2本を止めてください。

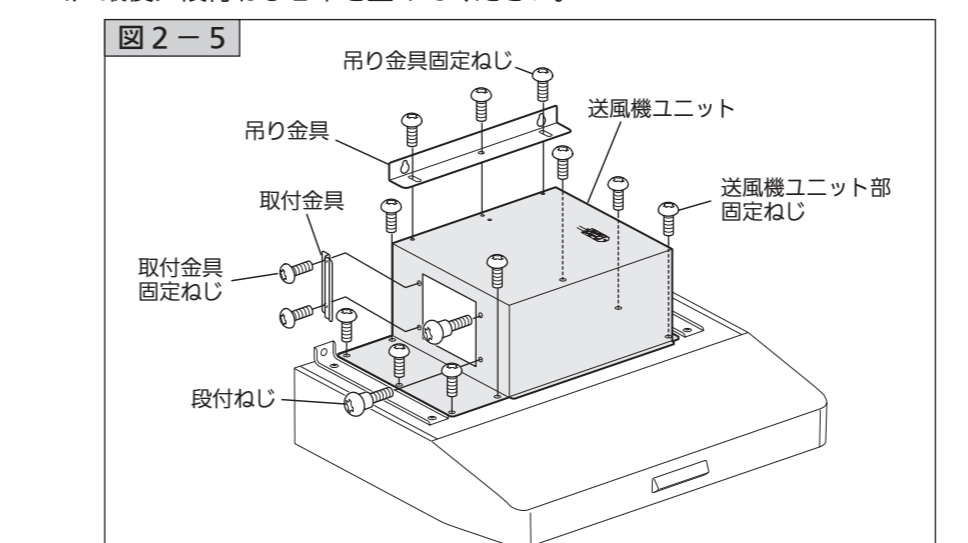


図2-5

- お願い**
送風機および吊り金具のねじ止めは確実に行ってください。ねじの締め付けが不十分ですと、異常音・振動・落下の原因となります。

5 配線の固定位置を変更します。(図2-6)

- 1) スイッチ配線を配線止めからはずし、反対側の配線止めに付け替えます。
- 2) 反対側にあるコードクリップで配線を固定します。

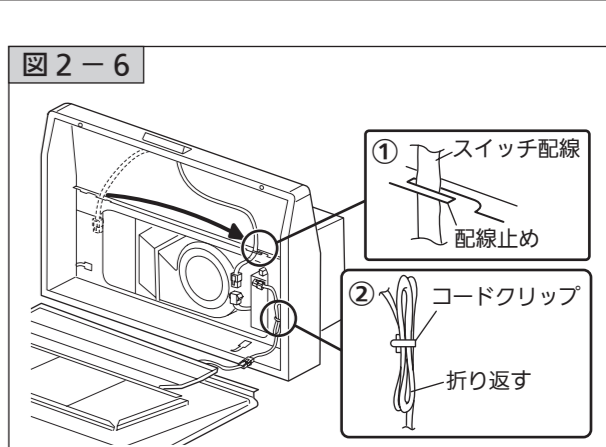


図2-6

6 コネクタ(2P・12P)を接続します。(図2-7)

- 手順2と逆の手順で接続します。

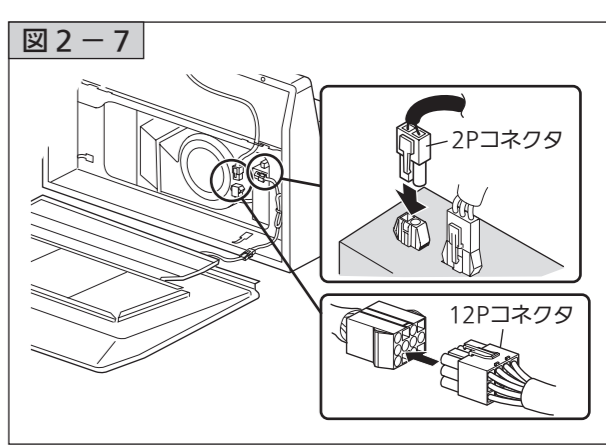
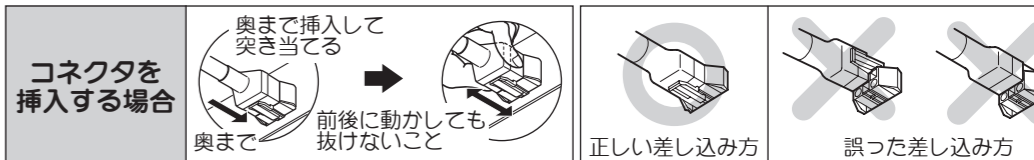


図2-7

お願い

- コネクタの接続について
コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。接続が不十分な場合、レンジフードファンが動作しない、発熱による故障などの原因になります。



7 オイルパネルを取り付けます。

- 手順1と逆の手順で取り付けてください。

表面に戻り、「3. 排気用部品の準備」以降の取付作業を行ってください。